

第44回北区区政会議(R6.2.28)における意見への対応状況

番号	委員名	担当課	意見	区政会議答弁	対応方針 (事後対応内容)	分類※	予算措置 (①②の場合 記載)
1	西野委員	地域課	防災啓発のための「ジシン本」について、区民の方の目に触れる場所に置くなど、防災・減災の意識を高めるために活用したら良いかと思う。今後もこの事業を継続してほしい。	引き続き事業を継続し、区民に防災に触れる機会を拡大し、常に災害に備えていただく取組みを、ジシン本サポーターと連携しながら進めていきたい。	同左	①	地域活性化事業 (北区防災啓発事業) 17,027千円
2	島村委員	地域課	個別避難計画については、作成段階も大切であるが、その後のメンテナンス、防災訓練、さらには災害発生時の運用が一層大切になるかと思う。作成後についても、しっかりと運用していただきたい。	答弁なし	メンテナンスについては、住所や世帯構成の変更等大阪市が保有する行政情報に関わる部分もあることから、危機管理室と連携し進めていきたい。運用面については、個人情報の取り扱い等の課題を整理しながら、自主防災組織と連携し進めていきたい。	①	—
3	笠井委員	福祉課	地域でつながり支えあう活動の支援について、地域活動における新たな担い手を増やすためにも、福祉の学びを深めた方たちが活躍できる場が必要かと思う。行政として、担い手をバックアップする体制がさらに必要かと思う。	既存のコミュニティだけではなく、新しい学びや新しい住民の結びつきによるコミュニティなど、それぞれの長所を生かし協力し合う、コミュニティ同士の協力し合える仕組みづくりを子育て支援の視点からも進めていきたい。	同左	①	子育て支援事業 61,130千円
4	二口委員	福祉課	不登校支援について、スクールソーシャルワーカー等が家庭訪問を実施しているが、どれくらいの頻度でどのように家庭訪問をしているのか。また、訪問される際は、学校と協議しているのか、それとも、専門職の方が、独自の基準をもって、訪問しているのか。	基本的には学校と連携しながら進めており、スクールソーシャルワーカー等において学校と協議しながら訪問先や訪問頻度などの方針を決めながら実施している。スクールソーシャルワーカーについては、北区独自で3名を増員しており、コミュニティソーシャルワーカーについても、地域単位で割り振り、地域福祉コーディネーターと連携しながら活動し、きめ細かな連携体制を構築している。	同左	①	子育て支援事業 61,130千円
5	栗原委員	地域課	石川県の地震を踏まえ、これから防災などの取組みを今まで以上に進めていかないとはいけないと思う。	答弁なし	引き続き、自助・共助の重要性や災害への備えについて、講座や防災授業等を通じて周知に努める。内容については能登半島地震の被害や被災地支援の状況等を盛り込むなど、災害への備えをこれまで以上に身近に感じることができるよう工夫していく。	⑤	—
6	高垣委員	健康課	いきいき百歳体操について、継続すると足腰が丈夫になり効果があると思う。区役所において広報し大分広まっているが、引き続き広報を実施して欲しい。	引き続き、いきいき百歳体操への参加者数を増やすため広報に取り組んでいく。	同左	①	健康増進 ・相談事業 18,189千円
7	渡島委員	地域課	町会の班構成について、実情に合わせて減らしてもよいか。	各町会で調整し決めていただいている問題ない。	同左	⑤	—

番号	委員名	担当課	意見	区政会議答弁	対応方針 (事後対応内容)	分類※	予算措置 (①②の場合 記載)
8	井筒委員	1	西天満地区は、細い道が多く、電柱や電線が多いが、地中化の予定あるのか。また水道管が古く、改修の予定はあるのか。インフラの整備を早く進めていただきたい。	北区における電線の地中化については、進んでいるが詳細については確認する。水道管についても、水道局に確認して、別途回答する。	無電柱化については、建設局において、都市防災機能の向上、都市魅力の向上、歩行者空間の安全・快適性の向上という基本的な方針に基づき推進しているが、西天満地区では現在計画はない。また、水道管については、水道局において、老朽化した配管を過去の事例から外面腐食に着目して管体の劣化を統計的に推定し優先順位をつけ、順次更新を実施している。	⑤	—
9	木下委員	健康課	百歳体操や認知症予防も大切だが、回想法シアターという新しいイベントをすることで触発される事が出てきて、新たな担い手の増加などに繋がると思う。	はつらつ脳活性化教室等を発展させていくには、認知症サポーターが重要。認知症サポーターが増えることで、多くの人が参加してもらえると思うので、区は広報、認知症サポーターの皆様には、口コミで参加を呼びかけてほしい。	同左	①	健康増進 ・相談事業 18,189千円
10	笠井委員	地域課	北区ジシン本サポーターについて、現在約50名の登録があり、コロナ禍ではオンライン講座を開催するなど、工夫しながら防災啓発を継続的に実施している。自助の次の共助を進めていくため、様々なコミュニティにアプローチしていきたい。	防災担当だけでは、防災の学びの発信に対応できないところがある。ジシン本サポーターが区民の立場から話をすることで、地域の方がより防災に関心を持つように感じる。能登半島地震で防災に関する関心を自分事のようにとらえる人が増えている印象。今後も防災に注力していきたい。	同左	①	地域活性化事業 (北区防災啓発 事業) 17,027千円
11	西野委員	政策推進課	北区は歴史のアーカイブがないと思うので、北区の遺産をアーカイブ化していきたいという活動をしている。アーカイブ化するにあたり、個人では難しいので、区役所等々でアーカイブするような方法を善処していただきたい。	北区のまちの名所や旧所名跡は、アーカイブ化されている。集約については、今後検討していく。	同左	③	
12	島村委員	福祉課	各地域の小地域福祉活動計画の策定の支援をお願いしたい。また、小地域福祉活動の広報発信をしてほしい。地域を知るきっかけになり、また、地域の担い手の発掘になると思う。地域福祉計画の策定に併せて、小地域福祉活動計画も発信してほしい。	各地域における計画の策定と実施について区としても連携して支援していくとともに、次期区地域福祉計画の策定にあたっては、地域の皆様のご意見を踏まえつつ検討を進めていきたい。	同左	②	住民主体の福祉コミュニティづくり推進事業 34,383千円

※ 分類 ①当年度(5年度)において対応 ②6年度運営方針に反映または6年度に対応予定  
③5年度・6年度では対応できないが、今後引き続き検討 ④対応困難または対応不可 ⑤その他